



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Tomoko Kuwano 4-16-23-401, Motoyama-nakamachi, Higashinada-ku, Kobe  
 Mail : kuwano-t@nifty.com Phone : 078-431-8418 658-0016, JAPAN  
 URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/>

## 主 題

- 国際協会会長 「とにかくやろうー成せば成る」  
 Finn A Pederseon "To dare is to do"  
 アジア地域会長 「とにかくやろうー成せば成る」  
 Wichian Boonmapajorn "To dare is to do"  
 西日本区理事 「ワイス'の原点 愛と奉仕で社会に貢献」  
 浅岡 徹夫 "Contribute to the Community  
 through Active Service with Love"  
 六甲部部长 「伝統を守りつつ、若返りを図ろう」  
 森 紘一  
 芦屋クラブ会長 「あなたがたは地の塩である」  
 都筑 省三

- 会 長 都筑省三  
 直前会長 桑野友子  
 副 会 長 堤 清 島田 恒  
 書 記 堀江哲次 柏原佳子  
 会 計 羽太英樹 堤 清  
 監 事 上野恭男 田舎庸男  
 連絡主事 藤田良祐  
 六甲部 Y サ・ユース事業主査 桑野友子

8

June 2011  
 第 171 号

## 今月の聖句

主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。  
 創世記 2:7

## 8月第1例会プログラム

- と き: 2011年8月17日(水) 19:00~21:00  
 と ころ: ホテル竹園 3階  
 司 会: 羽太英樹 (敬称略)  
 受 付: 福原吉孝・堀江哲次
1. 開会点鐘 都筑省三会長
  2. クラブソング斉唱 一同
  3. 聖句朗読 羽太英樹
  4. 食前感謝 柏原佳子
  5. 会食・歓談 一同
  6. 六甲部部长挨拶 森紘一六甲部部长
  7. ゲスト・ビジター紹介 司会
  8. アジア大会報告 加輪上敏彦・島田恒
  9. 第2例会議事録承認 都筑省三会長
  10. 報告・協議事項 各事業委員
  11. 誕生祝い 都筑省三会長
  12. YMCA ニュース 藤田良祐連絡主事
  13. 閉会点鐘 都筑省三会長

## Y サ・ユース事業

加輪上敏彦  
 毎日のように、新聞紙上に、TV の画面で、青少年の事件、事故、などが報じられています。原因は皆が豊かになったので、心が病んでしまったとか、学校教育に問題がありとか、親の躾が悪いなど、いろいろ評論家が言っています。多分当たっていることもあり、複合的に絡まって入りこもあるでしょう。そうした現代の青少年に、前向きに活動する場を与え、考えるひと時を与えているのが、YMCA です。歴史が古いだけに、やり方、考え方がやや古いのかもしれませんが。世の中に、昔ほど受け入れられなくなったのかもしれませんが。しかし、青少年のため取り組んでいます。大海の水を柄杓で汲んでいるように見えるかもしれませんが。その取り組みが続くかぎり、私どもワイズメンは、YMCA を支えてゆきましょう。たとえ、世間では、大海の水を柄杓で汲んでいるように見えても。

## 7月例会出席表

7月例会出席表		BF切手 (累計)	
第1例会出席者	例会出席率	0gm	(0gm)
メンバー 14名	出席者 14名	ニコニコ (累計) 9,800円 (9,800円)	
ビジター 0名	メイキャップ 1名		
ゲスト 0名	合 計 15名		
メネット 0名	在籍者 17名		
合 計 14名	(内広義会員1名) 出席率 93.8%		

## 7月第1例会報告

日時: 7月20日(水)19時~21時

場所: ホテル竹園芦屋

司会: 堤 清

以下敬称略

出席者: 飯田、田舎、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、島田、都筑、堤、羽太、福原、藤田、渡辺(14名)、

今期最初の例会は、都筑新会長の開会点鐘に始まり、ゲスト、ピジターの出席なしのメンバー14名だけの和やかな会がはじまり、続いて都筑新会長と桑野直前会長との引き継ぎ式が上野メンによって厳かに行われた。



会食の後、都筑新会長のあいさつがあり、今期1年の決意と活動方針を語られ、主題の「あなたがたは地の塩である」につ



いて、活動というものは地の塩として真面目に社会から認められることが大切であると説明があり、また楽しいクラブ活動をして行きたいと

語られた。

その後、羽太メンの前期の会計報告があり、決算、予算が示され、桜祭りの中止とジャガイモの不作でファンド資金が減り苦しい会計であったとの報告があった。



あった、今期はどうなるか自然任せで不安である。天候に左右されない他のファンドも考えるべきではないか。

各事業委員の活動方針と計画の発表があり、特に印象に残ったことは、Yサ事業の加輪上メンがチャリティランの運営資金についてYMCAはまわりが行動する前に関連の得意先をもっと利用すべきで積極性がほしいと語られた。

堤 清

## 六甲部第1回評議会報告

2011/2012年度六甲部評議会が7月9日神戸YMCA本館チャペルで開催された。芦屋クラブからは都筑、桑野、飯田、上野、柏原、福原、堀江の7名が出席した。

出席者は約65名、活発な討議が行われた。前年度六甲部の活動報告(安行直前部長)、会計報告(若林直前会計)後、今年度の活動方針・計画(森部長)と会計予算(館会

計)が説明された。今年の部長主題は「伝統を守りつつ、若返りを図ろう」、活動方針は「六甲部200名を達成することを目指して、若手が活躍する場を与えられるワイズメンズクラブとする」と発表された。その後、各事業主査と各クラブ会長の次期活動方針・計画が発表された。目立ったのは、事業主査のトップの発表に「桑野友子・Yサ事業主査」がまたクラブ会長の最後の締めめに「都筑省三・芦屋クラブ会長」が発表され、堂々とかつ丁寧に活動方針と計画を発表された。

(下記は発表された主題と活動計画の抜粋です。)

主査主題:

YMCAとともにコースにつなげるワイズの心!

活動計画:

各クラブのYサ事業紹介  
YMCA活動支援  
コースコンボケーション参加支援  
Yコースとの対話  
社会貢献活動の優秀事例紹介



介

Yサ・コース献金

会長主題:

あなたがたは地の塩である。

真面目にそして楽しいワイズ活動!

活動計画:

広範囲からのゲストスピーカー  
プラスONE例会  
みどり作業所支援  
YMCA留学生との交流  
研修会の開催



堀江哲次

## みどり福祉作業所に氷を支援しました

芦屋夏祭り花火大会には「みどり福祉作業所」が例年屋台を出しています。施設入居者とともに参加する事業であり、クラブとして支援の対象としています。

23日(土)の当日には、例年通り売り物のラムネなどを冷やす氷を買って上野はバイクに乗って届けに向かったのは18時過ぎでした。人の波はすさまじく、各所に関所がありやっとたどり着いた屋台で、大沢メン夫妻が笑顔で迎えてくれたので、却って上野の方が癒されたおもいでした。



元気に作業をしている入居者と挨拶を交わしたあとで、かき氷を250円で購入して食べながらやっと今年は花火を見て帰ろうと思いました。8月は「みどり福祉作業所」が参加する芦屋中央公園での納涼大会がまだありますので、クラブとして地域奉仕事業として支援しましょう。

上野恭男

## 東日本支援コンサートに参加して

アメニティ 2000 協会主催による「東日本大震災支援コンサート」が7月23日(土)神戸栄光協会にて開催されました。出演はアンサンブル・アメニティ。

メンバーの一人でテノール歌手の畑儀文先生は5月のブルーミンモードで行われた第一例会のゲストスピーカーとして、あのすばらしい歌声を聞かせて下さった方です。

他はヴァイオリンの赤松由夏氏、ハーブの春木浩子氏、リュートの高木一郎氏の4名による演奏で、一時間半にわたるクラシックと唱歌の調べを堪能することができました。

前半は古典の中から有名な曲目を9曲、後半は懐かしい唱歌を畑先生の流麗な語りを交えて聞かせて頂きました。

アニーローリーや庭の千草など何年ぶりに聞いたことでしょう。先生の語りの中で、アメイジンググレースは聖歌ではなく、実はイギリス民謡であったことを初めて知りました。それから明治5年に作られた日本で初めての小学校唱歌の教科書を見せていただき、当初の楽曲の多くは「蝶々」「螢の光」「上げば尊」など外国の曲に歌詞をつけたものであったのが、後に滝廉太郎などの日本人の作曲も増えてきたということでした。

しばし日常の喧噪を忘れ、美しい調べに身をゆだねることができましたが、この日東北から神戸に避難されている方々が招待されていました。この大地震で形あるものは破壊されてしまいましたが、美しいものを美しいと感じる人の心までは破壊されていないと思いました。一日も早い復興を願わずにいられます。手にしたチケットのタイトルの上に～今こそ私たちがお返しする時です～と書かれていました。「小さなことでも今私に出来ることをして行かねば」そんな思いを胸に帰路に着きました。いいコンサートでした。

渡辺倫子

## 花巻東高校甲子園出場おめでとう

地元に住む我々だけでなく春の選抜、夏の選手権大会は季節の到来と同時に故郷や旅した記憶を思い出し又時には自分の青春時代を重ねあわせるものです。

この国民的行事に花巻東高校が今年も帰ってきます。前回の出場の際は爽やか旋風を起こし多くの人に感動を与えたことは記憶に新しいです。今回は部員の多くの方が東日本大震災で甚大な被害を受け中には正捕手の祖父母が行方不明で「気持ちの整理がつかず辞めようと思った」と聞いております。その選ばれた中に私たちとDBCを締結しているもりおかクラブの前会長長岡さんのご息がおられます。本当に私たちにとっても喜ばしいことです。2年前の入部の時お聞きしたことを思い出し感激を新たにしています。

過日の新聞に監督が「震災で多くのものを、特に教え子の命を失って掴んだ甲子園だけに前回同様勝つことで岩手に勇気を与えたい」と語っておられました。私たちも出来る限りのお手伝いと交流を深める時としく思います。

飯田義雄

## 花巻東高校 いい試合でした！

(町永先生と柏原ウイメンの芦屋メールからの抜粋)  
昔から野球は8対7というスコアの試合がいちばん面白いといわれていました。走塁妨害だとか、守備妨害だとか(ルール上、し



	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
新 京	2	1	0	2	2	0	1	0	0	8	10	2
花巻東	2	0	3	0	2	0	0	0	7	12	5	

かたないのでしょうか)折角の好ゲームがちょっと白けたようにも思いましたが、いい試合でした。

稀にみる好試合でした。澆刺として頑張った花巻東が負けたのは残念でしたが、全くの互角に見えました。テレビでは、素晴らしい学生たちの応援風景が見られましたが、おそらくどこかに芦屋ワイズの皆さんが座っているのだらうなと思いながらの観戦でした。(町永先生)

昨日は、私にとっては甲子園球場応援の初体験の記念すべき日となりました。大関メン、井上メネットと甥ごさんの将来甲子園を目指している少年A、又6月に盛岡を訪問された西宮クラブの6名、芦屋クラブから7名が3Fのアルプス席を陣取って遠くから応援をいたしました。1塁スタンドは早くから日影に恵



まれ、心配していた日焼けから守られました。長岡直前会長は紫と黄色の集団の中で団長として活躍されていました。ちょっと場所が遠かったこともありTVと違って一度にプレーを見るのは難しかったですが、野球選手だった井上メンの説明の

お陰で結構一喜一憂しエキサイトし、臨場感を満喫できました。芦屋クラブメンバーと一緒に野球を応援する機会が与えられ、なんて愉快なのでしょう！



その後、応援には参加できなかった上野メンも入れられ有志でもりおか、西宮、芦屋の15名で「お疲れ様会」を持ちました。町永様のおっしゃるように8:7は素晴らしい戦いだったので

長岡団長の挨拶も前向きでお元気に見受けられました。(甲子園出場そのものが大変だったのでものね)

最後は都筑会長のごあいさつでDBCクラブ芦屋を締めていただきました。素晴らしい夏の暑い1日体験を感謝しています。(柏原ウイメン)

## 岩手三陸の銘菓「かもめの玉子」をいただきました。

(もりおかクラブ:井上修三様の柏原交流委員へのメールから抜粋)

貴クラブ例会に間に合うように送りました菓子について説明をいたします。去る2月のバレンタインデーに頂戴した、チョコレートにお返しをまだしてありませんでした。届いた菓子を見てびっくりされたことと思いますが、特別に思いのあるものなのです。当クラブ直前会長



長岡メンですが、IT機器のハード部門のエキスパートなのですが、今回町が壊滅状態となった、大船渡市に単身赴任をしております。3月11日も現地におりましたが、無事にとりあえず盛岡に戻ってまいりました。その後連日現地に出向き、顧客先などを奔走する日々でした。顧客の中に「さいとう製菓」さんがあり、泥にまみれた機器類を掘り出し、必死に復元。市内でいち早く店舗を再開するにあたり、大きな貢献をしたのです。小さな自慢をさせてください。という訳で、今回は「ミニかもめのたまご」を皆様にお届けいたしました。賞味いただければ幸いです。

### 7月第2例会・議事録(抄)

日時:7月27日(水) 19:00~21:00

場所:芦屋市民センター206号室

出席者:飯田、上野、柏原、桑野、都筑、羽太、藤田、堀江、(8名)

#### < 報告・協議・確認事項 >

##### 1) 第1例会プログラム

- 9月21日(水)メネット例会とする。詳細別途。
- 10月19日(水)芦屋病院事業管理者のゲストスピーチ。
- 11月16日(水)第1例会前に研修会を実施。詳細別途。
- 12月23日(金・祝)クリスマス例会

##### 2) 8月以降の予定 (クラブ例会以外)

- 8月19日(金)近隣4クラブ合同納涼例会  
出席予定:田舎、上野、柏原、桑野、都筑、渡辺
- 9月10日(土)神戸YMCA125周年記念講演会  
神戸教会 出席予定:飯田、加輪上、上野、柏原、桑野、島田、都筑、羽太
- 9月24日(土)六甲部・クラブ対抗ローンボール大会  
(しあわせの村):内容別途・聴取予定。
- 10月 8日(土)六甲部会 (合同メネット会も同時開催)  
神戸YMCAチャペル & ANAクラウンホテル  
出席予定:飯田、田舎、上野、柏原、桑野、都筑、堀江

##### 3) 6月度会計報告

羽太会計より報告あり、承認。

堀江哲次

## YMCAニュース

藤田良祐YMCA連絡主事

### 第26回午餐会、開催

7月2日(土)、第26回午餐会が開催、43名の方々が出席。「東日本大震災を学ぶ ~ 仙台からのレポート ~」がテーマで、仙台YMCA支援センター本部長の村井伸夫さんをゲストに、仙台YMCAの取り組みを通して震災の実態を学ぶ時を持った。「見てはいけないものを見てしまった子どもたちに、目に見えないものを見せてあげたい。それは夢であったり、新しい故郷のイメージであったり、また神様の働き…」というお話がされた。

### 東日本大震災支援活動報告

7月26日(火)から29日(金)には神戸YMCA主催でボランティアバスを出した。啓明学院高校の高校生30名と教員3名、また学校法人の幼稚園から教諭の方々6名が参加した。現地では、仙台YMCAの活動として亘理郡山元町でのワークが行なわれた。8月には名取市の中学生を招待して、コープこうべと神戸市社会福祉協議会との3者協働のキャンプが予定。また、神戸YWCAを通して福島県の子どもたちや家族を神戸YMCAのキャンプに受け入れる。その他、神戸地区に避難された被災者の皆さんが神戸YMCAの日常活動やキャンプに参加、被災者支援(参加費免除)を受ける方々も30名を越えた。神戸YMCAができることはわずかもかもしれませんが、様々な支援活動を今後も継続して参ります。

### 夏期特別プログラム開始

昨年よりも150名以上の多くのキャンプ申込があり好調です。余島野外活動センターの利用も新しい団体や学校利用も増えています。神様が与えてくださった自然の中で、多くの子どもたちの笑顔が弾ける夏であることを願っています。

### 神戸YMCA今後の予定

#### 第25回神戸YMCAチャリティーゴルフ大会

日程:10月19日(水)

場所:オリムピックゴルフ倶楽部

参加費:20,000円

#### ユースプラザKOBEBE・EASTプログラムのご案内

##### 1) ユーブラ・フェスティバル(入場無料)

日時:8月27日(土)11:00~16:00(予定)

内容:親子を対象とした簡単なゲームや工作コーナー。県立御影高校吹奏楽部の生演奏も行う予定

##### 2) 第28回フリーマーケット

日時:9月17日(土)11:00~16:00

内容:衣類、手作り品、雑貨等のフリーマーケット開催

#### 編集後記:

梅雨が明けて早くも暑い夏の季節となりました。甲子園球児たちの熱い戦いに花巻東高校が出場、芦屋クラブも甲子園内外で熱くなって応援できました。厳しい暑さが続きます。どうかご自愛ください。

堀江哲次